

各施設の看護管理者の皆さまへ

～ セカンドレベル受講推進のお願い ～

認定看護管理者教育運営委員会

平素より、認定看護管理者教育にご支援いただきありがとうございます。

近年、人口構造の変化に伴う看護の対象は複雑化し、DX 推進、働き方改革に伴うタスクシフト・タスクシェアへの対応、人材確保困難等、看護を取り巻く環境変化は著しく、看護管理者の皆さまは、多くの課題に向き合っていることと思います。現在のような変革の時代であるからこそ、看護管理者の資質の向上は非常に重要となってきます。日々発生する問題に対処するには、物事の本質を見極め、的確に対処する力が求められます。

日本看護協会の「認定看護管理者制度は、多様なヘルスケアニーズを持つ個人、家族及び地域住民に対して、質の高い組織的看護サービスを提供することを目指し、看護管理者の資質と看護の水準の維持及び向上に寄与することにより、保健医療福祉に貢献する」ことを目的としています。

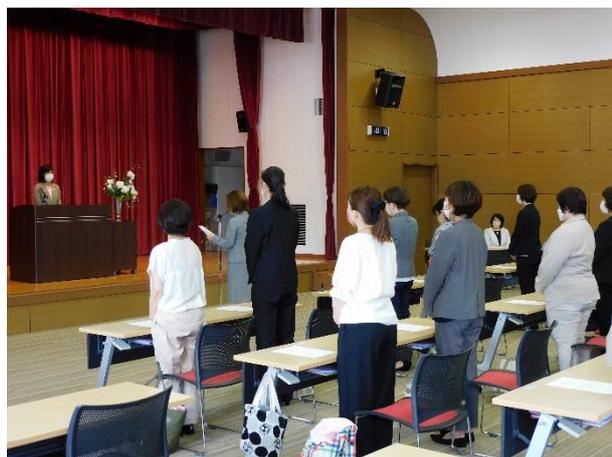
大分県看護協会の認定看護管理者教育課程セカンドレベル研修で、組織分析に基づく看護管理実践計画を立案する統合演習に時間をかけています。各教科目の学びを統合し、看護管理実践計画を立案した受講生は、組織に戻り計画を実行します。

近年のセカンドレベル研修の受講者数は、定員 30 名に対し 20～24 名で推移している状況です。職位は様々であり、副師長や主任の職位の受講生が 3 割近くになっています。修了生からは、ファーストレベル研修修了から期間を開けずに受講することが効果的であるとの意見があります。職位や期間にこだわらず、セカンドレベルの受講をご検討頂ければと思います。

さらに、受講生の所属施設には偏りがある傾向にあります。これまでセカンドレベル研修を受講していない県内全域の施設の方々にも、是非ご参加いただけることを期待しています。

さいごに、委員会では人材確保が困難な状況下で看護管理者の長期的な研修の受講を躊躇する現場に配慮し、受講生の負担軽減としてオンラインの参加を取り入れる等を検討しています。

トップマネジャーの看護管理者の資質向上への強い意志と受講生に対する後押しが、受講促進の大きな力になります。研修での出会いはその後のネットワークにもつながり、看護管理者の財産になることと思います。多くの受講生にお会いできることを楽しみにしています。



セカンドレベル 開講式



地域連携実習報告会